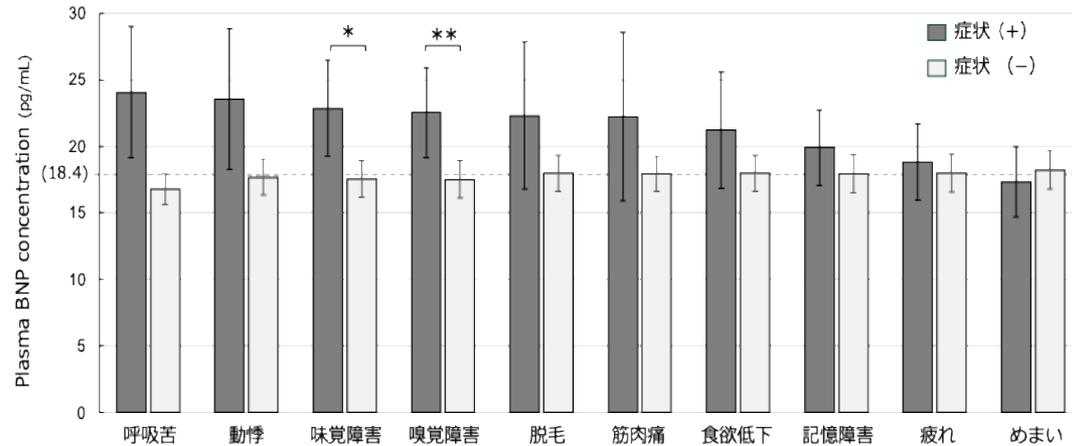


コロナ後遺症における血中BNP測定の意義の検討

- ✓ BNP（脳性(B型)ナトリウム利尿ペプチド）は**心不全のマーカー**として知られていますが、**新型コロナウイルス感染**でも上昇し、重症化などの予測因子になることが知られています。
- ✓ 本研究では、**コロナ後遺症**で受診された患者さんにおいて、BNP上昇例の臨床的特徴を評価しました。

- 2021年2月-2024年4月に当院受診されたコロナ後遺症患者428名を、BNP正常者(≤18.4 pg/mL:314名)とBNP上昇者(>18.4:114名)に分類すると、BNPが上昇している後遺症患者には**女性(73.7%)が多く**、年齢の中央値は**50代**でした。
- 呼吸苦・動悸・味覚障害・嗅覚障害など、**さまざまな症状がBNPの軽度の上昇(23~24 pg/mL)に関連**しており、記憶障害も、BNPの上昇のリスクに関連していました(オッズ比:2.36、 $p=0.05$)。



コロナ後遺症におけるBNP測定の有用性を検討する第一歩に

- **高齢**になるほどBNPは高く、**男性に比べて女性でこの傾向は強い**という結果でした。
- 心不全に関連する症状以外に、**呼吸器症状および/または記憶障害のあるコロナ後遺症の患者においても、BNP上昇が見られることがわかりました。**